

第3期紫波町まち・ひと・しごと創生総合戦略 骨子（案）

骨子（案）	備 考
I はじめに 1 総合戦略策定の趣旨 紫波町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、<u>地域資源やデジタル技術を活用した地方創生の取組みにより</u>、人口減少問題の克服と稼ぐ力の確保のために策定します。 (1) 人口減少問題の克服 (2) 稼ぐ力の確保 <u>(3) デジタル技術の活用</u>	・国のデジタル田園都市国家総合戦略を勘案する。 ※内閣府「地方版総合戦略の策定・効果検証のための手引き」一部抜粋 本構想の実現に当たっては、国と地方が連携・協力しながら推進することが必要であり、デジタル技術の浸透・進展など時宜を踏まえ、地域の個性や魅力を生かした地域ビジョン（地域が目指すべき理想像）を再構築した上で、地方版総合戦略の策定、改訂に努めていただく必要があります。
2 総合戦略の位置づけ ・総合戦略は、国の「<u>デジタル田園都市国家構想戦略</u>」や岩手県の「第2期岩手県ふるさと振興総合戦略」を勘案しつつ、紫波町人口ビジョンを踏まえ、今後5ヵ年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたものです。 ・第三次紫波町総合計画（令和2～9年度）との整合性に配慮しつつも、総合戦略は、人口減少対策に特化したプロジェクト事業の推進を図るために、総合計画とは別に策定します。	・令和4年12月、国の「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改正する形で「デジタル田園都市国家総合戦略」が策定された。
3 総合戦略の対象期間 <u>令和7（2025）年度から令和11（2029）年度の5年間</u>	—

Ⅱ 人口の推移 1 人口推移 （1）総人口の推移 （2）年齢3区分別人口・構成割合 （3）男女・年齢5歳階級別人口の推移 2 社会増減・自然増減の推移 （1）社会増減の推移 （2）自然増減の推移 3 出生数と婚姻数の推移 （1）出生数の推移 （2）婚姻数の推移 4 人口コーホート分析	・近年の人口推移等を調査・分析することで、町が置かれる現状を明らかにする。 ・また、「紫波町まち・ひと・しごと創生ビジョン」で定める人口の将来展望と比較し、分析・評価することで、第3期総合戦略における今後の課題・方向性を明らかにする。
Ⅲ これまでの取組みの検証 1 ローカル経済でしごとが生まれる （1）数値目標 （2）基本的方向 （3）主要な施策の重要業績評価指標（KPI）達成状況 （4）主な取組内容と成果 （5）今後の方向性 2 女性・若者に選ばれて新しいひとの流れが生まれる 3 子育て支援・教育の充実で若い世代の安心が生まれる 4 民の活力が湧き上がり時代に合った地域が生まれる	・6月～7月に実施した「第2期紫波町まち・ひと・しごと総合戦略の効果検証」の結果に基づき、各基本目標別戦略の「主な取組内容と成果」「今後の方向性」について新たに記載する。

<u>Ⅳ 新たに取り入れる 第3期総合戦略で重視する視点</u> 1 関係人口の拡大と地域人材の育成 2 SDG s の推進 <u>3 人口減少社会における生活様式の変化</u> <u>4 DXの推進による Society5.0 の実現</u>	・既存の「1 関係人口の拡大と地域人材の育成」、「2 SDG s の推進」は引き続き取り入れるべき視点であることから、項目名を「新たに取り入れる視点」から「第3期総合戦略で重視する視点」に修正する。 ・国の「デジタル田園都市国家総合戦略」等を勘案し、新たに「3 人口減少社会における生活様式の変化」「4 DXの推進による Society5.0 の実現」を追加する。
<u>Ⅴ 地域ビジョン・基本目標</u> <u>1 地域ビジョン（地域が目指すべき理想像）</u> <u>（1）地域ビジョン</u> <u>（2）基本的な考え方</u>	国の「デジタル田園都市国家総合戦略」を勘案し、戦略体系の最上位に位置する「地域ビジョン」を新たに設定する。 ・地域ビジョン・・・紫波町が目指すべき地方創生の理想像 ・基本的な考え方・・・地域ビジョンの考え方について載
<u>2 4つの基本目標</u> <u>（1）4つの基本目標</u> ①ローカル経済でしごとが生まれる ②女性・若者に選ばれて新しいひとの流れが生まれる ③子育て支援・教育の充実で若い世代の安心が生まれる ④民の活力が湧き上がり時代に合った地域が生まれる <u>（2）横断的目標</u> <u>デジタル活用により便利でやさしい暮らしが生まれる</u> <u>①デジタル技術の活用による地方創生事業の推進</u> <u>②自治体 DX の推進による質の高い行政サービスの提供</u>	【国の総合戦略における施策の方向】 （1）デジタルの力を活用した地方の社会課題解決・魅力向上 ①地方に仕事をつくる ②人の流れをつくる ③結婚・出産・子育ての希望をかなえる ④魅力的な地域をつくる （2）デジタル実装の基礎条件整備 ①デジタル基盤整備 ②デジタル人材の育成・確保 ③誰一人取り残されないための取組

	【横断的目標の考え方】 ・4つの基本目標に共通する「デジタル技術を活用して地方創生事業を推進する」という基本的な考え方について定義する ・具体的なデジタルを活用した事業は、各基本目標別戦略の「事業」として位置づける。 ・4つの基本目標別戦略のいずれにも該当しない「自治体 DX の推進」については、横断的目標の事業として位置づける。
Ⅵ 基本目標別戦略（資料No.2「基本目標別戦略新旧対照表」のとおり） 1 ローカル経済でしごとが生まれる （1）数値目標 （2）基本的方向 （3）主要な施策・事業と重要業績評価指標（KPI） 2 女性・若者に選ばれて新しいひとの流れが生まれる 3 子育て支援・教育の充実で若い世代の安心が生まれる 4 民の活力が湧き上がり時代に合った地域が生まれる	・各基本目標別戦略の見直し内容については、別紙「第3期総合戦略骨子（基本目標別戦略）」を参照 ・「数値目標（KGI）」「重要業績評価指標（KPI）」については、素案の検討時に見直しを行う。 ・基本目標別戦略の「事業」の内容が抽象的で、町の具体的な取組が分かりづらいため、さらに具体的な町の取組を位置づける「主な取組事業」の項目を新たに追加する。 ⇒P5「主な取組事業のイメージ」参照
Ⅶ 連携プロジェクト 1 つないでつむいで新たな農業応援プロジェクト ～「食と農」を起点とした地域内経済循環システムの構築～ 2 めぐって学んで感動できる紫波探訪プロジェクト～観光・交流・体験～ 3 おらほの企業しつかり応援プロジェクト ～企業誘致と既存企業の成長を促す支援～ 4 暮らしに便利な都市機能充実プロジェクト～公共交通と都市整備～ 5 子どもの居場所づくりプロジェクト～新たな居場所と豊かな体験～ 6 起業家人材育成プロジェクト～人材育成とリノベーションまちづくり～	・「Ⅶ 連携プロジェクト」は、「Ⅵ 基本目標別戦略」の達成に向け、主要な事務事業を集中的に進める事業として選択・パッケージ化したプロジェクトである。第1期総合戦略の策定時から紫波町が独自に設けており、町の総合戦略における大きな特徴となっている。 ・第3期総合戦略より、「Ⅵ 基本目標別戦略」に新たに「取組事業」の項目を追加することから、<u>連携プロジェクトの項目を廃止する。</u>

7 地域みらいづくりプロジェクト ～地域資源を生かした持続的な地域運営～ 8 公有財産活用プロジェクト ～民間活力の導入による公有財産の活用～ 9 デジタル化推進プロジェクト ～快適で豊かな暮らしやすいまちへ～	
<u>Ⅶ</u> 戦略の推進 1 推進組織 (1) 有識者会議 ・「紫波町まち・ひと・しごと創生推進協議会」において、官民連携により総合戦略の推進を図ります。	—
(2) 庁内組織 ア 紫波町まち・ひと・しごと創生推進本部において戦略推進の全体調整・進行管理を図ります。 イ 部局横断・政策連携のため、プロジェクト推進幹事課を設置します。 プロジェクト毎に推進担当の幹事課を定め、幹事課が中心となり、部局横断、政策間連携により戦略の推進を図ります。	—
2 効果検証 ・有識者会議「紫波町まち・ひと・しごと創生推進協議会」が専門的見地から戦略の実施状況の効果検証を行います。	—
3 戦略の見直し ・戦略はP D C Aサイクルにより不断の見直しを行います。	—

【主な取組事業のイメージ】

VI 基本目標別戦略

■具体的な施策

例) 2-1 ワーク・ライフ・バランスの実現

仕事と育児の両立支援を行う。

■事業

2-1-1 男女共同参画・女性活躍推進の普及啓発

主な取組事業	概 要
男女共同参画セミナーの開催	(主な取組事業に関する説明)

2-1-2 男女共同参画・女性活躍推進に関する支援・情報発信

主な取組事業	概 要
ワーク・ライフ・バランス実現のための普及啓発	(主な取組事業に関する説明)

各事業で実施するさらに具体的な取組内容を「**主な取組事業**」として位置づける。